

発行 斑鳩町議会
斑鳩町法隆寺西3丁目7番12号
電話 0745-74-1001
FAX 0745-74-1011
Eメール: gikai@town.ikaruga.nara.jp
発行人 議会議長 坂口 徹
編集 広報発行常任委員会

いかるが



こん どう せい きょく よう けい ぎょう よう
金銅製棘葉形杏葉
(藤ノ木古墳出土)

杏葉とは、^{ばく}馬具の1種で、馬の胸や尻の部分の革帯に取り付けられた飾金具です。藤ノ木古墳から出土した杏葉は、棘のある葉の形をしており、地板となる鉄板の上に、銅板に金メッキを施した金銅板と金銅製の透かし板を重ねて金メッキを施した鉄鋳^{てつびょう}で固定したもので、透かし板には、向かい合う双鳳文とパルメット文^{そうほうもん}が細かな透かし彫りで表現された見事なものです。

文化財センターには、この杏葉の精巧な複製品が常設展示されています。

文化庁所蔵・奈良県立橿原考古学研究所
附属博物館保管

6月 定例会



13名の議員紹介	②ページ
こんなことが決まりました	④ページ
意見書を提出しました	⑤ページ
9人の議員が一般質問を行いました	⑥ページ
委員会のうごき	⑫ページ
本会議での討論	⑮ページ

13名で 新たなスタート!

去る4月21日に斑鳩町議会議員選挙が執行され、13名の議員が選出されました。今後、この13名で頑張ってもらいますので、皆さまのご支援をお願いします。各議員の所属委員会等は、16ページ(裏表紙)に掲載しています。

—議員の紹介—

皆様の温かいご支援を賜り発言の場へと送り出して頂きました。しっかりと期待を胸にこの初心を忘れることなく真摯に政治に向き合ってくださいと考えております。未来に対しての責任を果たすべく今、何が斑鳩町に必要なのか、どうすればより住みやすいまちになるのかということをご提言してまいります。



小城 世督
阿波3丁目

この度は住民皆様からの、温かいご支援を賜り、本当に心から感謝しております。1期目の新人議員でも住民皆様のお役に立てますよう、日々勉強し頑張ってお参ります。女性ならではの目線で、皆様の想いや声をかたちにして参りたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。



溝部 真紀子
龍田北5丁目

行政改革のキーワードは情報公開だと考えています。主権者は誰か。町ならば言うまでもなく町民です。サービスの受け手側に立った行政、つまり主権者である住民の皆様にお納めいただき、満足いただける行政にする為にしっかりと全うしてまいります。



伴 吉晴
稲葉西2丁目

みなさんから温かいご支援を賜り、心から感謝申し上げます。住民目線で活動し、熱い気持ちでみなさんの思いを、ひとつひとつ形にしていこう、誠心誠意努力してまいります。住んでよかった、住み続けたいと思える日本一の斑鳩町をめざして、一生懸命がんばります。



齋藤 文夫
龍田西6丁目

皆様方の想いを実現する為一生懸命働かせて頂きます。子育て世代の一人として教育や子育て支援、福祉の充実などこれからの子ども達の生活を守る為、全力を尽くして参ります。町民のニーズを町政に反映し、安心で安全な斑鳩町を皆様と共に目指して参ります。



大森 恒太郎
神南3丁目

6期目を就任させていただきました。ご支援を賜り、心から感謝申し上げます。5期目では、安全と安心を守る為、防犯カメラの設置に努力を致しました。今後もご家族様にとっても町にとっても大事なお子様が安心して通学できるように、道路の安全確保にしっかりと安全で安心な町づくりになるように頑張ります。



中川 靖広
龍田3丁目



嶋田 善行
興留9丁目

5期目の議会に送っていただき、ありがとうございます。町民の皆様や子どもたちの安全と安心の実現を「ライフワーク」として、活動してまいります。

また、行政に対して、「ダメなものダメ」「ノー」と言える議会をめざす議会改革にも取り組んでまいります。皆様のご支援をお願いします。



濱 眞理子
龍田西2丁目

住民のみなさんからお寄せいただいた声は、命・暮らしに密着した様々な声です。一つひとつに耳を傾け、真剣に取り組んでまいりました。大きな社会構造の中で身近な問題も町だけでは解決できないことも多々あります。県や国、また世界に対してもしっかりとものを言えるように成長できる活動を目指してまいります。



井上 卓也
神南5丁目

この度も住民の皆様多くの温かいご支援を賜り心より深く感謝申し上げます。皆様の力強いご支援を頂き、2期目もしっかりと町民の皆様が「安全で安心」して暮らせる町を目指し、皆様方と共に情報を共有し町政に反映して参りますことをお約束させてまいります。今後も全力で頑張っ参ります。



木澤 正男
興留5丁目

みなさまのご支援で議会へ送っていただき5期目となりました。身近に役立つ議員となれるよう、引き続き、みなさまの願い実現に全力でがんばります。

また、行政のチェック機能としての役割を果たすとともに、建設的な提案を行い住みよい斑鳩のまちづくりに力を尽くしてまいります。



横田 敏文
法隆寺南1丁目

今までの銀行勤務・自治会活動で培った経験を活かし、歴史と文化の息づく斑鳩に愛着を持ち、魅力あふれる・活力のあるまちづくりに誠心誠意頑張ります。

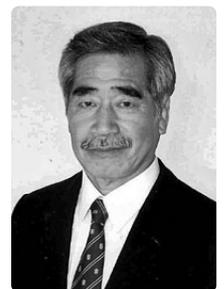
より一層、経常収支比率の改善を図り、柔軟で安定した財務基盤の確立を目指します。



奥村 容子
龍田西5丁目

皆様の温かいご支援を賜り2期目の取り組みをさせていただけることに、心から感謝と御礼を申し上げます。

住民の皆様のお声、大事な声を誠実に耳を傾け、実現のため力を尽くしてまいります。斑鳩町の発展のため、住民の皆様生活の安心安全を守るため全力で働いてまいります。



坂口 徹
龍田西6丁目

みなさま方のご支援をいただき、引き続き議会へ送っていただきました。これまでの3期12年の経験を活かし、住民みなさま方の声を町行政へ届けるためのパイプ役として頑張っ参ります。

これからも、安全・安心・共にはぐくむ元氣な斑鳩をつくるため、全力で働いてまいります。



こんなことが決まりました

第3回臨時会

令和元年5月14日

第4回定例会

令和元年6月3日～6月20日

令和元年第3回臨時会が5月14日に開かれ、議員の役員改選のほか、下記の事項について審議しました。

また、令和元年第4回定例会では、それぞれの議案を委員会に付託し、詳しく審査しています。

議案の内容などについては、各委員会の記事をごらんください。

建水：建設水道常任委員会	12ページ
厚生：厚生常任委員会	13ページ
総務：総務常任委員会	14ページ

臨時会の案件		結果	
人事	斑鳩町監査委員の選任について同意を求めることについて	満場一致で同意	
条例	斑鳩町町税条例の一部を改正する条例について	満場一致で可決	
	町長専決処分について承認を求めることについて (斑鳩町町税条例等の一部を改正する条例について)	満場一致で承認	
	町長専決処分について承認を求めることについて (斑鳩町都市計画税条例の一部を改正する条例について)		
	町長専決処分について承認を求めることについて (斑鳩町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)		
予算	令和元年度斑鳩町一般会計補正予算(第1号)について	賛成多数で可決	
その他	平群町及び斑鳩町における西和地域の広域連携に係る連携協約について	満場一致で可決	
	三郷町及び斑鳩町における西和地域の広域連携に係る連携協約について		
	斑鳩町及び上牧町における西和地域の広域連携に係る連携協約について		
	斑鳩町及び王寺町における西和地域の広域連携に係る連携協約について		
6月定例会の案件		付託先	結果
条例	斑鳩町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について	厚生	満場一致で可決
	斑鳩町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	総務	
	斑鳩町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について	厚生	
	斑鳩町介護保険条例の一部を改正する条例について	厚生	
予算	令和元年度斑鳩町一般会計補正予算(第3号)について	総務	満場一致で承認
	令和元年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	厚生	
	令和元年度斑鳩町水道事業会計補正予算(第1号)について	建水	
	令和元年度斑鳩町下水道事業会計補正予算(第1号)について	建水	
	町長専決処分について承認を求めることについて (令和元年度斑鳩町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)について)		
選挙	斑鳩町選挙管理委員会の委員及び同補充員の選挙について		当選
人事	教育長の任命について同意を求めることについて		満場一致で同意
陳情	交差点への信号等の早期設置を求める要望書 — 小吉田1丁目の町道405号線と斑鳩パークウェイが交わる交差点 —	建水	満場一致で採択
報告	議会の委任による町長専決処分の報告について (令和元年度斑鳩町一般会計補正予算(第2号)について)		報告
	平成30年度斑鳩町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について		
	平成30年度斑鳩町下水道事業会計予算繰越計算書の報告について		
	平成30年度斑鳩町文化振興財団事業報告について		
発議	信号機等の早期設置・安全対策を求める意見書について		満場一致で可決
	奈良県西和医療センターの充実を求める意見書について		賛成少数で否決

議会選出の監査委員として、中川靖広議員を選任することに同意

15ページに賛否の討論

選挙管理委員会委員に浅部京子氏、吉田憲子氏、今野鐵雄氏、松下靖氏が、同補充員に浅井真氏、鈴木さよ子氏、吉田建四郎氏、宮崎莊平氏が当選

山本雅章氏を選任することに同意

5ページに意見書

15ページに賛否の討論

関係機関に 意見書を送付

6月定例会では、委員会から提案された1件の意見書が可決され、関係機関に送付しました。

信号機等の早期設置・安全対策を求める意見書

平素は、本町の交通安全対策や安全で安心なまちづくりにご指導、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成26年3月に、いかるがパークウェイの稲葉車瀬区間が供用開始され、交通の流れの変化、交通規制の変更など、道路利用者を取り巻く環境が大きく変化し、いかるがパークウェイと町道405号線が交わる交差点においては、これまで複数の事故が発生しております。

たいへん残念なことに、平成31年4月20日には当交差点において車とバイクによる死亡事故が起きました。

この交差点は、通勤、通学の主だった経路となっており、朝夕の時間帯には車の通行量も多く、歩行者をはじめ車両横断についても危険な状況となっております。

こうしたことから、地域住民からは、これ以上交通事故が発生することがないように、信号機等の設置を求める声が多く寄せられております。

また平成31年3月28日には都市計画道路が国道25号に接続し、今後、いかるがパークウェイ事業の進捗に合わせまして、新たな交通の流入が見込まれてまいります。

本町議会としましては、更なる事故の発生を未然に防止するためにも、いかるがパークウェイと町道405号線の交差点における信号等の設置を強く要請いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

議会の日程

閉会中の委員会

事情により開催しない場合もありますので、議会事務局にお問い合わせください。

8月20日(火) 建設水道常任委員会

21日(水) 厚生常任委員会

23日(金) 総務常任委員会

27日(火) 議会運営委員会

9月議会の予定

9月2日(月) 本会議初日

(委員長報告、提案説明、議案上程)

広報発行常任委員会

5日(木) 一般質問【本会議初日に町ホームページに

6日(金) 一般質問 一般質問の要旨を掲載します】

9日(月) 決算審査特別委員会

10日(火) 決算審査特別委員会

11日(水) 決算審査特別委員会

13日(金) 建設水道常任委員会

17日(火) 厚生常任委員会

18日(水) 総務常任委員会

20日(金) 議会運営委員会

26日(木) 本会議最終日(委員長報告、討論、表決)

議場は、役場3階です。

すべて傍聴できます。

開会時間は、午前9時を予定しています。

(広報発行常任委員会は本会議終了後)

日程・時間は、一部変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

議会事務局 ☎ 74・1001 内線302

一般質問 Q &A

一般質問とは、議員が町の行政全般について質問し、是正を求めたり、新たな施策の提案を行ったりするものです。

本定例会での一般質問は、6月6日・7日の両日、9人の議員が行いました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

※紙面の都合により、◎の質問のみ掲載しています。

中川靖広議員・6ページ

◎保育園、幼稚園、小学校が通園や通学、散歩に使う道路の安全性

溝部真紀子議員・7ページ

◎部活動のあり方
◎健康増進計画
◎通学路における交通安全の確保

木澤正男議員・7ページ

◎西和医療センターについて
◎障がい者団体への仕事の発注等、就労支援の取り組み
◎ゼロ・ウェイスト宣言に基づく今後の取り組み
◎国民健康保険税の引き下げを

奥村容子議員・8ページ

◎登下校見守りボランティア
◎高齢社会での期日前投票のあり方

井上卓也議員・9ページ

◎斑鳩町での災害時、水害時の避難所
◎平成31年4月にいかるがパークウェイで起きた死亡事故

濱真理子議員・9ページ

◎生活保護受給者への支援
◎ごみ分別収集の促進
◎学校給食の無償化を視野に入れた支援計画を

齋藤文夫議員・10ページ

◎町道の安全対策

伴吉晴議員・10ページ

◎町立幼稚園の運営

小城世督議員・11ページ

◎公共施設におけるツバメの巣の取り扱い
◎民間の造成による橋梁工事の施工時期や安全管理
◎18歳、19歳の投票率について
◎また斑鳩町の投票率の低下に対する今後の取り組み



通園や通学散歩に使う 道路の安全性について



中川 靖広 議員

議員 将来の町を担う子どもを守るために交通安全対策は必要だと思います。町

長の考えをお尋ねします。
町長 子どもたちの安全を図るために防犯カメラの設置、またグリーンベルト等の設置という形で予算の限度はありますが、その中で

取り組みを進めており、教育委員会等とも協議をしながら、事業を進めていきたくてというふうにご検討しております。

議員 町道101号線の安全対策についてお尋ねします。猫坂から役場西詰めまでの101号線については、25号線の渋滞を避けるために通り抜けする車が多いと思いますが、安全対策として町はどのようなこと

ができるのか、お尋ねをします。

都市建設部長 本町の役場南西側より龍田、猫坂の間の町道101号線については、通学時間帯に国道25号の渋滞に伴い、車両の進入が増加し、中にはかなりの速度で通過していく車両があるという状況であること町としても認識しております。このため、安全対策として「通学路、スピード落とせ」の看板や「通学路につき7時30分から8時30分までの車両通り抜けご遠慮ください」の注意喚起の看板、あるいは「飛び出し注意」の路面標示などを行いつつ安全対策に努めております。
議員 「7時30分から8時30分まで通り抜けをご遠慮



子どもたちの命を守る 通学路における 安全確保について



溝部 真紀子 議員

ください」という看板の設置についても約15年前に私が時間規制をしていたことがあったことでも熱心に動いていただきましたが、沿道自治会の中で同意を得られなかったため、時間規制については実現はしなかったという経緯があります。

各地で悲惨な事故が多発しており、沿道自治会の協力をしていただけのように再度、警察とも協議をしながら進めていただけるように要望します。

子どもたちの命を守る 通学路における 安全確保について

議員 平成25年12月に策定された「通学路安全プログラム」に基づき、定期的な合同点検を実施されてきましたが、大津、川崎での事件から斑鳩町における通学路での交通安全確保の取り組みについてお聞きします。

教育長 毎年夏休みに通学路安全点検を実施しております。ご承知の通りの事故、事件を受けて、各学校、幼稚園等が地図上に通学路、集団登校の際の集合場所の経路上に危険と思われる通学路マップを作成し、県警察が抽出した危険箇所を合同点検を実施します。

議員 いかるがパークウェイが開通されたことで車の流れが変わった地域があると思いますが、現時点での通学路への影響についてお聞きします。

議員 日本では交通事故における乗車中の死亡事故は先進国で1番少ない状況ではありますが、逆に歩行者が死亡する件数、割合は先進国で1番多い状況です。本町の安全対策にも研究されるよう、お願いします。

議員 延伸には時間を要します。子ども達への安全対策を引き続きお願いします。

また、服部、興留地区を通り抜ける車両の増加対策についてお聞きします。

なおパークウェイの、開通区間が延伸されると交通量は減少し、安全性が大きく向上すると考えております。

議員 延伸には時間を要します。子ども達への安全対策を引き続きお願いします。



高すぎる国民健康保険税の 引き下げを



木澤 正男 議員

議員 国保加入世帯の年間所得は、2016年では全国平均138万円と、ピークであった1991年から半減しているにもかかわらず、全国的に国民健康保険税の高騰が続いています。

また、この国保税は、中小企業の従業員さんが加入している協会健保など、他の健康保険の保険料と比べて2倍近い金額になってお

り、この高過ぎる国保税を
引き下げるための対策が必
要です。

国保税が高騰している最
も大きな要因は、国が費用
負担を以前の半分程度に減
らしてしまったことにあり
ます。この点については全
国知事会から国に対し、国
庫から1兆円の財政投入を
行うよう求められており、
町からも引き続き、国に対
して声を上げていただきた
いと思います。

さらに国民健康保険に
は、他の健康保険にはない
均等割という保険税の計算
方法があります。世帯の人
数、家族数が多いほど負担
がふえるという仕組みにな
っています。ですから国保加
入世帯では子どもが生まれ
家族数がふえると、その分、
負担がふえるという子育て
支援に逆行するシステムが
いまだに続いています。い
つまでも制度改正を進めよ
うとしない国に対して、町
として声を上げていただく
ことを強く要望します。
さて、今年の4月から上

牧町では、均等割を町独自
で軽減するという取り組み
が行われています。斑鳩町
でも同様に均等割を軽減し
てはいかがでしょうか。

住民生活部長 上牧町で
は、国民健康保険会計の過
去の黒字を積み立てた基金
を活用して18歳以下の方の
均等割を軽減されていると
聞いています。しかし、斑鳩
町の国民健康保険会計は累
積赤字を抱えている状況な
ので、上牧町と同じような
取り組みを行うことは難し
いと考えます。

議員 一般会計から繰り入
れを行い、子育て支援策と
しての実施を検討してい
ただくことを要望します。



登下校見守り ボランティアについて



奥村 容子 議員

議員 大津市の保育園児が
交差点で待機中に事故に巻
き込まれ2人の園児が亡く
なりました。また、川崎市で
は小学6年生の女子児童が
殺傷事件の犠牲になりました
た。未来ある子どもたちの
大切な命が失われたことが
残念でなりません。

斑鳩町でも、学校安全ボ
ランティアの皆さんが、毎
日児童の安全のため、見守
り活動を続けてくださって
います。しかし、高齢化や今
後の担い手が心配されるこ
ろです。町の認識と担い
手の育成、普及についての
考えを伺います。

教育長 現在、79名の登録
ボランティアの皆様が地域
で活動いただいています。

本町においても、少子高
齢化の進行を勘案すれば、
今後、その活性化が課題で
あると考えています。

人材確保については、幅
広い世代や関係団体に広報
紙やホームページ等さまざ
まな機会をとらえ呼びかけ
を行ってまいりたいと考え
ています。

聖徳太子 1400年御遠忌について

議員 2021年の聖徳太
子1400年御遠忌に向け
て町としての取り組みと、
住民参加で一体感を醸成し
ていくような事業を実施し
ていくお考えはありませ
るか。

総務部長 本町では、聖徳
太子没後1400年を迎え
る2021年(令和3年)に
向けて、「聖徳太子のまち・
斑鳩町」をアピールし、聖徳
太子と「和」を感じるまちづ
くりをすすめるため、平成
29年度に「斑鳩・聖徳太子
和く和くプラン」を策定し、
さまざまな取り組みを進め
ています。

今年度は、平成30年度か
ら3か年事業として取り組
んでいる「和のあかりプロ
ジェクト」を住民団体と協
働で実施し、聖徳太子の
「和」の心に想いをはせる町
内一斉ムーブメントとして
住民のみなさんや各種団体
等に参加いただけるしくみ
づくりをすすめてまいりま
す。



斑鳩町での防犯時・防災時の 避難所について



井上 卓也 議員

のある目安や神南など、11地区を対象に避難勧告を発令し、順次4か所の避難所を開設しました。中央公民館298人、斑鳩小学校24人、中央体育館153人、西公民館6人で、合計481名が避難されました。

議員 避難所の駐車場等の状況について。

総務部長 中央公民館の敷地内に駐車しきれない車両が、法隆寺線に多く駐車されていた状況でした。その後、本町では、台風接近が予想される場合に、早期に自主避難できるように、避難所として中央公民館、西公民館、中央体育館、斑鳩小学校、斑鳩東小学校、法隆寺国際高等学校を同時に開設し、避難者の分散化も図っています。

議員 避難所運営マニュアルについて。

総務部長 一昨年の10月に発生した、超大型台風21号時は、土砂災害特別警戒区域及び同警戒区域を対象とした避難準備・高齢者避難開始の発令、大和川の水位の上昇に伴い浸水の可能性

総務部長 避難生活が長期化する場合、一般の避難所では、避難生活が困難な要介護者の配慮が必要な方について、福祉避難所は、生き生きプラザの1か所でした

が、本年2か所の民間福祉施設と協定を結び、今後避難者が安心して、避難できる体制づくりをすすめています。

平成31年4月に

斑鳩パークウェイで起きた死亡事故について

議員 信号機設置について斑鳩町の考えは。

都市建設部長 地元の西和警察とも協議、連携し奈良県公安委員会に対しまして、より強く要望してまいります。

議員 今後も信号機にこだわらず、路面標示・標識等も協議していただき、また斑鳩町としてもできる安全対策の検討・対応をお願いします。

生活保護受給者への支援 町民に寄り添った窓口



濱 眞理子 議員

議員 町内の受給者の世帯数・人数と動向はどうですか。

住民生活部長 平成31年3月末では176世帯273人でした。毎年増加しています。

議員 毎年増加は全国的なものですが、正規職員雇用が減り、物価は上がっていくのに生活保護費は削減が続いています。命・健康を守る医療費の扶助と通院移送費(交通費)の扶助の受給者は何人ですか。

住民生活部長 医療費扶助は受給者の全員が受けられるものですが、生活保護は福祉事務所が所掌しており、実際に医療を受けておられる人数は町では把握し

ておりません。通院移送費は12人です。

議員 扶助費や医療券を窓口で受け取る方の人数は何人ですか。また、その方々と接することや声掛けは可能ですか。

住民生活部長 扶助費は20人の方が窓口で現金で受け取っておられます。医療券は中和福祉事務所へすぐに送付しており、受け取りに来られる方の人数は記録していません。中和福祉事務所では町ごとの人数は集計しておらず、問い合わせできませんでした。

議員 町民が役場の窓口を通して提出した書類について、記録していないとの回



答は問題があると思います。受給者の方お二人が、支給開始時に受けた説明を完全に覚えていなかったことが発端で、中和福祉事務所の担当者から激しい口調での非難を受けました。町民にとって町は一番身近な行政の入り口です。町は「権利がある」ことを知っているのに、中和福祉事務所の仕事だからとかかわりを持たないのは問題です。町民が今元気なのか、受診しているのか、受診時には交通機関を利用しているのか、移送費の申請をしているのかの声掛けをできますか。

住民生活部長 ご意向を踏まえ、改めて中和福祉事務所にお話させていただきま

議員 受給者への丁寧な説明・声掛けを強く要望いたします。

町道の安全対策について



齋藤 文夫 議員

議員 町道の安全対策についてお伺いします。

都市建設部長 危険と思われる箇所に、路面標示や啓発看板の設置などを実施しながら安全対策に取り組んでおります。

議員 国道25号線のバイパスが一部開通したことにより、町道の交通量が変わり、交通事故の危険性が増しています。危険と思われるところなどには積極的に迅速にドライバーにはつきりと認識していただくよう、制限速度の速度規制標識を立てることや路面に制限速度を表示するなどの対策や、歩行者や自転車が安全・安心して通行できるように、歩行者や自転車が通行する部

分へのラインや路面をカラー化するなどの対策の実施についてお伺いします。

都市建設部長 通行量が特に多い路線については30kmの速度規制が実施されています。

しかし、実際に速度規制された道路であっても、制限速度を守らない等、危険な状況が見受けられるのであれば、今後警察に規制の路面標示や取り締まりの強化を要望してまいります。

路面のカラー化については、通学路において要望のあった箇所において路面を緑色に着色したグリーンベルトを設置することで整備しました。

今後、歩行者や自転車が

安心して通行できるように、地元住民や関係機関と協力し、交通安全対策に向けて取り組んでまいります。

議員 道路の安全・安心は、防災・防犯や食品などの安全・安心と同じように重要な課題と思います。

車の道路通行時間の制限、一方通行、速度規制の設定や見直し、信号の待ち時間帯の点滅信号への変更など、渋滞の解消なども含め、前例や過去にとらわれず、未来を見据え、知恵を出し合い、先進地に学び、そしてスピード感を持って、町道の安全対策に全力を尽くしていただくことをお願いいたします。

町立幼稚園について



伴 吉晴 議員

議員 今から20年前、10年前の町立幼稚園の園児数と現在の園児数をお伺いします。

教育長 平成10年度の園児数は337人、平成20年度の園児数は257人、今年度の園児数は181人であり、平成20年度と比較しますと、今年度の園児数は半分程度まで減少しています。



議員 園児が減少している原因をお伺いします。

教育長 町立幼稚園と、私立幼稚園そして保育園に就園いたします園児数の推移から見ますと、保護者が共働きをしたいということ、二丁ズが保育園に流れているということが原因と考えています。

議員 最近では町立幼稚園で給食制度を取り入れられ、保護者の負担を少なくし、通いやすくなる施策はされているようにも思いますが、それ以外に対策は打ってこられたのかお伺いいたします。

教育長 保育時間の延長等や、英語等の語学に親しむ機会も実施しております。

議員 今年秋には、国で幼保の無償化が導入されることから来年度からもっと厳しい状態になるのではと考えます。それに対する対応をお伺いいたします。

教育長 町立保育園の園児数が減少することも想定しています。

そのことから、保護者の

共働きにより長時間保育について検討していく必要があると考えております。

議員 今のままでの存続もひとつの選択肢ですが、迅速に事前からいろいろなことを想定していかなければいけない時代に入ってきていると思います。

幼稚園また保育園の垣根がだんだんなくなってきたり、幼児教育無償化をきっかけに、柔軟に考えていただくことも大切だと思います。結果を見てから考えるというのではなく先を見据えた施策を期待いたします。



工事に伴う通学路等の安全管理・安全対策について



小 城 世 督 議員

議員 4月から県道天理斑鳩線を駅に向かう阿波2丁目付近の造成に伴う橋梁工事が行われています。簡易信号の設置があり片側通行であったが停止線等わかりづらく通勤時間帯などは渋滞も酷くガードマンもいませんでした。この件につきまして町としての交通安全対策の協議状況についてお伺いします。

都市建設部長 開発工事に伴う事前協議、交通安全対策の協議事項といたしまして、1、搬入搬出車両の通行は通勤通学時間帯を避けること。2、関係機関と十分に協議し交通安全を確保すること。3、通学路があることから工事車両の通行は徐行

等、児童生徒の通行に留意すること。4、必要箇所にはガードマン等を配置し児童の安全確保に努めること。以上4点の指示事項を出し事業者から対応する旨の回答をうけており、具体的な方法は事業者で検討し実施されています。

議員 ガードマンの配置はありませんでした。指導されましたか。

都市建設部長 現場状況を確認後、至急事業者へ連絡し改善されました。

議員 工事開始前に町と協議し安全確認ができたのではないかと考えます。今後の町としての対策をお聞かせください。

都市建設部長 開発事業に

については工事施工業者が決まっていないことが多く、開発事業者から交通安全対策について詳細な計画を提示することは困難であるため、包括的な協議として安全の確保に努めるよう協議しています。しかし、ご指摘の通り通学時間帯などの交通量の多い地域であることなどを鑑み、開発に係る工事着手前の諸手続きの中で交通安全対策に係る業者と協議を綿密に行い、その指導の徹底に努めてまいります。

議員 4月の入学シーズンでもあり入学生徒は慣れない中、危険であったと考えます。今後もこのような案件は多数あると思いただき通学路の安全確保に努めてください。



建

設水道常任委員会

6月10日、全委員出席のもと委員会を開催し、本会議より付託を受けた3議案等について審査を行いましたので、その主な内容と結果について報告します。

委員会付託議案

◎令和元年度斑鳩町水道事業会計補正予算（第1号）について

◎令和元年度斑鳩町下水道事業会計補正予算（第1号）について

（結果）付託議案2件は、当委員会として、満場一致で可決すべきものと決しました。

◎陳情第1号 交差点への信号等の早期設置を求める要望書―小吉田1丁目の町道405号線と斑鳩パーク

各課報告事項

○斑鳩町まちづくりアンケートの調査の結果について

次期斑鳩町都市計画マスタープランの策定にあたり、まちづくりの課題や住民の意向などを調査・整理するために、斑鳩町内にお住いの18歳以上の方、2000名を対象とし、斑鳩町の暮らしやすさや定住意向、町の将来像等について調査を行いました。

令和2年3月をめどに第1回目のマスタープラン策定委員会を開催し、令和3年3月の策定をめどに、すすめてまいりたいとの説明がありました。

○都市基盤整備事業に関することについて

30年度に、国道25号との交差点部分の工事を実施して、今年3月28日の早朝に供用を開始。いかるがパークウェイ整

備については、3月時点で、「平成31年3月末には、本線部分が三室交差点に接続される見込みで工事が進められてきましたが、2か月程度の遅れが見込まれる状況である旨」報告をしていました。その後、奈良国道事務所に工事の進捗について説明を求めています。が、明確な回答が示されないうまま、予定時期が迫り、5月24日、中西町長と奈良国道事務所長が面談。地下埋設管路の設計の見直し等に伴う、インフラ事業関係者との協議に時間を要したことなどにより、工事スケジュールを変更する必要があると説明を受けました。

奈良国道事務所に対して、

今後の工事の計画、整備時期のめどについて、速やかに示されるよう、強く求めている。との説明がありました。

委員より、法隆寺線の開通に伴って、信号が設置されたが、そのため国道25号の渋滞が重度化しているの



▲いかるがパークウェイ（岩瀬橋から三室交差点を望む）

ではないか、服部道の車の流入が増え、南都銀行駅前出張所の交差点で車が渋滞する等について質疑があり、理事者より答弁されております。

その他

委員より、県道大和高田斑鳩線の法隆寺跨線橋からの鋼製アングル落下事故についての質疑があり、理事者より答弁されました。

（井上委員長記）

6月11日全委員出席のもと、本会議から付託を受けた4議案について審査いたしました。その主な内容についてご報告します。

厚生常任委員会

委員会付託議案

◎斑鳩町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例について

国で定められていた災害援護資金の要件等について、市町村への権限移譲がなされたことから所要の改正を行うものです。

主な改正内容は、貸し付け要件の緩和及び貸し付け利率の変更、保証人の必置義務を任意とする等です。

◎斑鳩町家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について

家庭的保育事業所（乳児、3歳未満対象）卒園後の受け皿の提供を行う連携施設の確保条件の緩和です。

◎斑鳩町介護保険条例の一部を改正する条例について

低所得の高齢者に係る第1号保険料の軽減強化を目的とした介護保険法施行令、同国庫負担金算定政令の改

正に伴い当町の保険料率について改正するものです。

◎令和元年度斑鳩町介護保険事業特別会計補正予算（第1号）について

前項の改正により軽減される保険料を国2分の1、県・町各4分の1負担とするものです。

（結果）すべて満場一致で可決すべきものと決しました。

各課報告事項

◎令和元年度斑鳩町一般会計補正予算（第3号）について

本委員会に関係するものは、介護保険料軽減に関するの繰り出し金に対する国庫負担金等の増額。10月から実施される幼児教育・保育の無償化関連補助金、障害者支援システム改修業務等です。

◎平成30年度国民健康保険税の不納欠損処分について

合計人数52人、総額74万6428円の報告がありました。

◎平成30年度介護保険料の不納欠損処分について

合計人数70人、総額256万7820円の報告がありました。

◎平成30年度後期高齢者医療保険料の不納欠損処分について

合計人数16人、総額49万1150円の報告がありました。

◎環境保全及びごみ減量化・資源化の推進に関することについて

平成30年度のごみ排出量は事業系ごみが前年比9.2%増加しました。無料配布している3種類の資源物指定袋を統一し、自治会の負担減や経費削減をめざし、モデル事業を実施されます。

◎斑鳩町プレミアム付商品券発行事業について

低所得者の対象者（要件あり。約4700人）と子育て世帯（要件あり。約900人）であり、7月号広報にその概要を掲載されます。

◎その他

「一日里親会」「心身障害者（児）ふれあいの集い」「身体障害者ふれあいの集い」の実施予定。

西和医療センター分娩業務休止について。

町営自転車等駐車場への鋼製アングル落下事故について。

委員より
歩きたばこ及び路上喫煙の防止条例の検討について。



▲斑鳩町指定資源物 共通回収袋図案

（濱委員長記）



務常任委員会

6月13日 全委員出席のもと総務常任委員会を開催しましたので、その概要をご報告します。

本会議より付託を受けました2議案につきましても、すべて満場一致で可決すべきものと決しました。

委員会付託議案

◎斑鳩町放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例について

学童保育の支援員資格要件に政令指定都市の長が行う研修を受けた者を追加するための条例改正です。

(問) 条例改正による当町への影響について。

(答) 条例改正しないと政令指定都市で研修を受けた方を当町の学童保育の支援員として採用できなくなります。

各課報告事項

○平成30年度町税不納欠損処分及び町税収納状況について

○斑鳩町コミュニティバス実証運行利用者アンケート調査結果及び王寺駅乗り入れ案について

来々年4月1日よりコミュニティバスの王寺駅への乗り入れを実施したいのとこととで、現行ルートをそのまま残すものや、ルートを一部縮減、一部廃止するものなど、町より3つの案が示されました。今後、当委員会として議論を重ね、12月頃をめどに方針の整理が行なわれる予定です。

◎令和元年度斑鳩町一般会計補正予算(第3号)について

低所得高齢者にかかる介護保険第1号保険料の軽減や幼児教育・保育無償化の事務費、就学前の障害児に対する発達支援の無償化などの経費、また、並松自治連合会から申請された太鼓台の修繕事業が国のコミュニティ助成事業の対象となったことによる助成金の補正など、歳入歳出予算の総額に、それぞれ2420万2千円を増額するものです。



○斑鳩町まちづくりアンケート調査の結果について

第5次斑鳩町総合計画策定に向けて行われたアンケートの集計結果が報告されました。結果は町ホームページで公表される予定です。

○会計年度任用職員制度の概要について

○斑鳩町における歴史的史跡等の発掘調査、整備保存に関することについて

○平成30年度斑鳩町文化振興センター指定管理者事業報告について

○平成30年度斑鳩の里観光案内所(法隆寺iセンター)及び斑鳩町観光自動車駐車場指定管理者事業報告について

○通学路等における防犯カメラの設置について

平成29年度に10台、また、平成30年度には4台の防犯カメラが設置されています。今年度は、6台の設置を行い、町として合計で20台の設置を計画しているとのことでした。

○斑鳩町プレミアム付商品券発行事業について

○職員採用試験の実施について

○第39回斑鳩町商工まつりの開催について

○子ども模擬議会の開催について

昨年までは2日間に渡って開催されていましたが、今年度は台風の影響等を考え、1日での開催を考慮していることでした。

○小学校・中学校空調設備の整備状況について

○町立図書館電子書籍貸出冊数上限の見直しについて

7月1日から貸出冊数の上限を2冊から5冊に引き上げるものです。

○斑鳩町立町民プールの開設及び無料開放事業の実施について

○史跡中宮寺跡公園南東部における転倒事故について

以上、16件の報告を受けました。

(木澤委員長記)

本 会 議 で の 討 論

議案に対して賛否が分かれた場合、議員が自己の賛否の意見を表明し、その理由を述べる「討論」を行います。

5月臨時会、6月定例会でそれぞれ1件の討論が行われました。

令和元年度斑鳩町一般会計補正予算(第1号)について

【反対意見】 濱 議員

低所得者・子育て世帯プレミアム付商品券発行事業費への異議を申し上げます。国が行う消費税増税の緩和と景気対策です。私は、低所得者・子育て世帯への大きな支援になることも理解しております。日本共産党は消費税増税に反対です。賃金は減少、年金は減額が続き、住民は目先の負担増のみならず、将来への不安が増大しております。増税反対の声は増大し、煩雑な税率対応に業者からは懸念の表明が出されています。

プレミアム付商品券発行という限定された軽減対策は、一時的で、その後の税負担の重圧は続きます。実績は、地元商店への使用は限られ、大型店舗が大半です。消費税増税後の消費落ち込み対策として多額の経費を投入してまで行う事業ではなく、消費税増税自体の見直しが重要です。町は「国の施策だから町は従うだけだ」の姿勢から脱却し、本質を見極め、住民の側にたった町の在り方を求めます。

【賛成意見】 伴 議員

本補正予算は、低所得者及び子育て世帯を対象としたプレミアム付商品券発行のための予算補正であります。

この事業は、市町村が実施主体の国庫補助事業として、国において、全市町村に対し、事業の実施を要請されている事業であります。反対者が述べられている、この事業を実施しないことにより、対象となる住民の皆様が不利益を被る選択は、責任ある行政としては考えられないものであります。

町においては、事業の趣旨に照らし、円滑な事業の実施に努められるよう要望いたしまして、私の賛成意見とさせていただきます。

奈良県西和医療センターの充実を求める意見書について

【反対意見】 嶋田議員

西和医療センターについては、そのあり方について、高齢化や人口減少が進む中、「患者にとって最適な医療の提供」をめざし、奈良県と県立病院機構が連携しながら、今年度から検討委員会を設置し、担うべき医療機能のあり方と再整備方針の検討がなされる予定であります。本意見書の取扱いについては、現時点で、西和医療センターの再整備方針等についてはまだ、何も示されていない状況であること。また、西和医療センターは、本町だけでなく西和地域の基幹的な公的医療機関として、西和広域7町とも連携、足並みを合わせ対応することが、極めて重要であると考え次第であります。

以上のことから、本意見書の提出に対しては、今後の動向を見極め、西和広域7町と連携して対応していくことが肝要であると考えことから、本意見書の提出は必要がないものとして反対するものであります。

【賛成意見】 濱 議員

西和医療センターは住民にとって、信頼できる総合病院として、通院・入院の大きな担い手として存在し続けてまいりました。

移転も含めた再整備については、具体化は示されておりませんが、計画が決定すれば、従わなくてはならないということを懸念される多くの方がおいでです。県では、総合医療センターに集中する医療体制が進められ、現に西和医療センターでは、医師不足から分娩の休止が予定されています。現在受診中の方々だけでなく、身近に受診できる総合医療機関の存在は計り知れない安心ではないでしょうか。

地域医療を支える拠点病院として、西和医療センターの更なる充実を求める、住民の切実な声をこの意見書で届けたく私は賛成いたします。

議会の新しい構成をお知らせします

5月14日に議会役員等の選任を行いました。新しい議会の構成は下記のとおりです。

総務常任委員会

- 委員長 木澤 正男
- 副委員長 伴 吉晴
- 委員 小城 世督
- 〃 嶋田 善行
- 〃 井上 卓也
- 〃 横田 敏文

町の総合計画や行政改革、防災計画、地域公共交通、コミュニティ、まちづくり、観光、商工業、文化振興財団、財政計画、財産管理、町民税、固定資産税、小・中学校、幼稚園、生涯学習に関すること等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

議会運営委員会

- 委員長 嶋田 善行
- 副委員長 伴 吉晴
- 委員 溝部 真紀子
- 〃 齋藤 文夫
- 〃 小城 世督
- 〃 木澤 正男
- 〃 奥村 容子

定例議会の会期、議事日程や議事進行に関する事、請願・陳情の処理に関する事、意見書の提出等議会の対外的問題に関する事等、その他議会運営上必要と認める事項や、他の委員会に属さない事項の審査、調査をします。

- 議長 坂口 徹
- 副議長 奥村 容子
- 監査委員 中川 靖広

議会を傍聴してみませんか!



本会議・委員会の開催日程は5ページをご覧ください。

広報発行常任委員会

- 委員長 濱 真理子
- 副委員長 溝部 真紀子
- 委員 伴 吉晴
- 〃 大森 恒太朗
- 〃 横田 敏文
- 〃 奥村 容子

議会広報の編集、発行に関する事務をします。

厚生常任委員会

- 委員長 濱 真理子
- 副委員長 嶋田 善行
- 委員 齋藤 文夫
- 〃 中川 靖広
- 〃 小城 世督
- 〃 奥村 容子

保健事業、児童福祉、障がい者福祉、高齢者福祉、介護保険、国民健康保険、ごみ問題、環境対策、住民登録・戸籍に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。

建設水道常任委員会

- 委員長 井上 卓也
- 副委員長 木澤 正男
- 委員 溝部 真紀子
- 〃 齋藤 文夫
- 〃 中川 靖広
- 〃 大森 恒太朗

道路、河川、橋梁、町営住宅、農業、建築開発に伴う各種規制、屋外広告、公園・緑地、駅前整備、都市計画道路、公共下水道、上水道に関する事等についての調査や、議案・請願等の審査をします。



は、気温以上の斑鳩を愛する熱い思いが詰まっています。これからもよろしくお願ひします。
(濱委員長記)

編集後記

新しい議員を交えての委員会がスタートいたしました。裏表紙掲載の写真からそれぞれの輝くまなざしが皆さんに伝わりましたか。本号が皆さんに届く頃には夏も本番です。表紙と裏表紙の間に